

和光紙器株式会社 (鈴鹿市)

持続可能なサーキュラーエコノミーへの挑戦

段ボール箱から輸送トレーまで幅広く包装資材を扱う企業で、環境を考えた商品開発に注力。「ものづくりで進化させ続ける」をスローガンに、包装資材のプロ集団として培った営業力・対応力に、進化し続ける人材力・製造力・開発力で「社会に必要とされる」企業をめざす。

- 創業 1949年
- 従業員数 80人
- 資本金 3000万円



代表取締役 本橋 志郎

廃棄物を生まないサーキュラーエコノミー

循環資源を活用するサーキュラーエコノミーに取り組み、製造工程で出る端材等を再利用して廃棄物を生まない仕組みを構築。今地球上に存在する資源を有効活用し、環境に配慮したものづくりに取り組んでいる。

一貫製造システムを導入したことで、無駄なく廃棄物を活用でき、コストも低減。環境配慮型商品でも、一般商品と変わらないコストでの提供を可能にしている。



廃棄物を利用して作られる製品



海岸清掃活動の様子

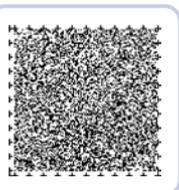
従業員一人一人が考えるSDGs

同社ではSDGs勉強会を実施しており、年初めに従業員一人一人が取り組むSDGs活動内容を発表、年末に活動の結果を発表する。従業員が発案したSDGs活動は、着なくなった制服を必要な人につなぐ「制服リユースBOX」の作成、ウミガメを守る海岸清掃活動、端材をおもちゃヘリサイクルし保育園に寄贈…など多岐にわたる。このような地域に根差した活動を通して、従業員がやりたいことを実現でき、いきいきと働ける職場づくりにもつながっている。

従業員の成長を導く取組

同社では「WAKOHノート」を全従業員に配布。従業員が共通認識を持って働くための教科書として常に経営理念を確認できるようにし、目標に向かって計画を立てられるページも設け、従業員の成長を導くツールとなっている。

また、全従業員を対象に社長賞やSDGs活動賞などを表彰したり、年に1回社長との1on1ミーティングを実施することで、誰もが平等に評価され、安心して働ける環境を作っている。



表彰を受けた従業員